# 【八SBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				┃■ 外観
建物名称	(仮称)古城病院新築移転工事	階数	地上4F	
建設地	人吉市下新町字新町355番2 他3筆	構造	RC造	_
用途地域	区域区分非設定、防火地域指定なし	平均居住人員	50 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価	16 6 65 65 65 6 6 6 6 6 6
竣工年	2012年3月 予定	評価の実施日	2011年3月30日	
敷地面積	3,631 m <sup>2</sup>	作成者		
建築面積	1,307 m <sup>2</sup>	確認日		
延床面積	4,616 m <sup>2</sup>	確認者		

# 1 CASBEE評価結果 ■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) BEE = 1.0 BEE = 1.0 ■ BEE (環境効率 ■ CASBEE評価基準 ランク ランク表示 S ☆☆☆☆ A ☆☆☆☆ B+ ☆☆☆ B+ ☆☆☆

■BEE(環境効率) = Q(環境品質) L(環境負荷)

ランク	ランク表示	評価	判定値			
		計皿	BEE値	Q値		
S	****	素晴らしい	3.0以上	50以上		
Α	***	大変良い	1.5以上3.0未満	_		
B <sup>+</sup>	***	良い	1.0以上1.5未満	_		
B-	☆☆	やや劣る	0.5以上1.0未満	_		
С	☆	劣る	0.5未満	_		

## 2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価 評価点

81.2

67.5

75

81.9

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

【重点事項2】安全安心で暮らしやすい社会の実現

環境負荷L

【重点事項3】県の地域資源の有効活用と保全

【重点事項4】循環型社会の実現

**評価点** ■熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	66666
80点以上100点未満	<b>6666</b>
60点以上80点未満	666
40点以上60点未満	<b>66</b>
40点未満	<b>&amp;</b>

※評価点は、100点以上が推奨です。

Page : 1/1 Sheet : 1/4

# C//SBEE"熊本《新築》【評価結果》

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb 2008(v.3.2)





■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部村生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2まは出置は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO2の算定条件等については、「LCCO2算定条件シート」を参照されたい

評価点 =

75

県の地域資源の

評価点 = 82

社会の実現

# 【八SBEE"熊本《新築》【配慮事項】

### 4 設計上の配慮事項

### 総合

今回の新築移転を行うことで、これまで以上に施設内の充実をはかり、既存建物や周辺環境に調和のとれた建築物となる よう配慮した。

### Q1 室内環境

窓システムで複層ガラスを採用し、室内温度の維持をはかり室内環境の向上に配慮した。 建築材料については、建築基準法規制対象外(F☆☆☆☆)となる材料を採用した。

### Q2 サービス性能

設備配管等の材料では比較的耐久性の高いものを使用し、建築物の耐用性の向上に努めた。

### Q3 室外環境(敷地内)

既存建物との調和を損なわないよう、外部仕上げや敷地内の外構計画に配慮した。

### LR1 エネルギー

太陽光パネルを採用することで一部自然エネルギーを変換利用するものとした。照明器具では、LEDの採用や調光器具の 採用等をおこなうことでエネルギー利用の削減に努めた。

### LR2 資源・マテリアル

非構造材料の一部でリサイクル材を使用し、資源の有効活用をおこなった。

### LR3 敷地外環境

敷地内の舗装に浸透性アスファルト舗装を採用し、敷地外の環境負荷に配慮した。

### その他

C

Page: 1/1 Sheet: 2/4

CASBEE-新築(簡易版)2008年版 ■使用評価マニュアル CASBFF-新築 (簡易版) 2008年 (仮称)古城病院新築移転工事 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-NCb 2008(v.3.2) 実施設計段階 スコアシート 建物全体·共用部分 住居·宿泊部分 配慮項目 環境配慮設計の概要記入欄 全体 評価点 評価点 係数 係数 Q 建築物の環境品質 Q1 室内環境 0.40 3.2 1 音環境 0.15 2.8 1.00 1.8 1.7 1.1 騒音 0.40 5.0 0.40 2.0 暗騒音レベル 1 2.0 1.00 5.0 1.00 2 投稿経費対策 0.40 0.40 1.2 遮音 1.8 1.6 開口部遮音性能 0.30 3.0 0.40 3.0 1 2 0.30 界壁遮音性能 1.0 0.60 1.0 界床遮音性能(軽量衝擊源) 3 3.0 1.0 0.20 4 界床遮音性能(重量衝擊源) 3.0 1.0 0.20 1.3 吸音 1.0 0.20 1.0 0.20 2 温熱環境 0.35 1.00 3.6 3.7 2.6 2.1 室温制御 0.50 0.50 3.7 3.0 1 室温設定 2 負荷変動:追従制御性 3.0 0.38 3.0 0.57 3 外皮性能 3.0 0.25 3.0 0.43 ゾーン別制御性 温度・温度制御 個別制御可能な空調設備機器を採用 0.38 3.0 @91#IØ 8 時間外空間に対する配慮 8 監視システム (共用のみ)調湿空調システム 0.20 2.2 湿度制御 5.0 0.20 1.0 2.3 空調方式 0.30 0.30 3.0 3.0 3 光 視環境 3.3 3.3 0.25 3.6 1.00 3.1 <u>昼光利用</u> 3.0 0.30 4.2 0.30 (共用)1.85%、(住居)1.93% 1 昼光率 3.0 0.60 5.0 0.60 方位別開口 30 3 昼光利用設備 3.0 0.40 3.0 0.40 0.30 3.2 グレア対策 0.30 4.0 4.0 1 照明器具のグレア (共用、住居)庇、ブラインドの設置 2 昼光制御 4.0 1.00 4.0 1.00 0.15 0.15 3.3 照度 3.0 3.0 照度 3.0 1.00 3.0 1.00 1 2 照度均齊度 0.25 0.25 3.4 照明制御 3.0 3.0 4 空気質環境 3.6 0.25 3.5 1.00 3.5 4.1 発生源対策 4.0 0.50 4.0 0.63 F4、ホルムアルデヒドについて放散量の少ない建材採用 4.0 1 化学污染物質 4.0 1.00 1.00 2 アスヘスト対策 3 ダニ・カビ等 4 レジオネラ対策 4.2 換気 0.38 2.0 0.30 2.6 3.0 1 換気量 3.0 0.50 0.33 0.13(1/8以上) 自然換気性能 40 0.33 3 取り入れ外気への配慮 10 0.50 1.0 0.33 4 給気計画 5.0 0.20 4.3 運用管理 CO₂の監視 2 喫煙の制御 建物全体が禁煙 1.00 5.0 Q2 サービス性能 0.30 29 2.2 0.40 4.0 1.00 2.4 1.1 機能性・使いやすさ 3.0 0.60 5.0 0.60 広さ・収納性 居室(1床室)11.8㎡ 5.0 1.00 2 高度情報通信設備対応 3.0 バリアフリー計画 1.00 3.0 3.0 1.0 0.40 1.2 心理性·快適性 0.40 2.5 1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 天井高:(1床室)2.5m 4.0 0.50 3.0 3.0 3 内装計画 1.0 1.00 1.0 0.50 1 維持管理に配慮した設計 3.0 維持管理用機能の確保 2 耐用性・信頼性 0.31 3.1 3.1 0.48 2.1 耐震·免震 3.0 耐震性 0.80 3.0 2 免震·制振性能 3.0 0.20 2.2 部品・部材の耐用年数 3.1 0.33 躯体材料の耐用年数 3.0 0.23 複層仕上げ塗り材(10年) 2.0 0.23 外壁仕上げ材の補修必要間隔 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 3.0 0.09 空調換気ダクトの更新必要間隔 多湿箇所に硬質塩化ビニル管採用 4.0 0.08 5 空調・給排水配管の更新必要間隔 給水・給湯・排水管でB以上使用 5.0 0.15 主要設備機器の更新必要間隔 0.23

Page: 1/2 Sheet: 3/4

			T.				
	2.3 適切な更新			-		-	
	2.4 信頼性		3.4	0.19	-	-	
	1 空調・換気設備		3.0	0.20		-	
		受水槽・高架水槽の分離、配管の系統区分	4.0	0.20	- 1	-	
	3 電気設備	自家発電設備設置、浸水の危険性がない	4.0	0.20		-	
	4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
	5 通信・情報設備		3.0	0.20		_	
2	対応性・更新性		3.4	0.29	2.9	1.00	3.3
٠ آ			4.6		2.8	0.50	3.3
	3.1 空間のゆとり	/#E)005 //ED)070		0.31			
		(共用)3.95m、(住居)3.70m	5.0	0.60	4.0	0.60	
		(共用部分)壁長さ比率0.15(住居部分)壁長さ比率1.04	4.0	0.40	1.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.31	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		2.8	0.38		-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.17		_	
	2 給排水管の更新性		2.0	0.17		_	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.11		_	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.11			
						-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
	6 バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3	室外環境(敷地内)		_	0.30	-	-	2.7
	生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-		2.0
	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40		-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30		-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		_	
I D			0.0	0.00			2.0
	建築物の環境負荷低減性						3.0
LR1	エネルギー			0.40	-	-	3.1
1	建物の熱負荷抑制	_	3.0	0.30		-	3.0
	自然エネルギー利用		3.5	0.20		_	3.5
	2.1 自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		_	0.0
		大陽火発電パスル設置					
		太陽光発電パネル設置	4.0	0.50		-	
	設備システムの高効率化	ERR=0	3.0	0.30		-	3.0
4	効率的運用	•	3.0	0.20	-	-	3.0
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50		_	
LDO	資源・マテリアル		-	0.30	_	-	3.3
- 1,	水資源保護		3.4	0.15	-	-	3.4
	1.1 節水	節水コマ、省水型機器採用	4.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用·雑排水再利用		3.0	0.60		-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		_	
	2 雑排水再利システム導入の有無		3.0	0.33		_	
_	非再生性資源の使用量削減		3.3	0.63		_	3.3
							3.3
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
	2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	集成材、再生クラシャラン	4.0	0.20		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	GL工法を採用	4.0	0.24		-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.2	0.22	-	-	3.2
Ĭ	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32		_	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.3	0.68			
		ハロン消火剤を使用していない		1			
	. 1117(7)1	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4.0	0.33		-	
	2 断熱材		3.0	0.33		-	
	3 冷媒		3.0	0.33		-	
LR3	敷地外環境		_	0.30	-	-	2.8
_ 1	地球温暖化への配慮		2.7	0.33		-	2.7
2	地域環境への配慮		2.6	0.33	-	-	2.6
- 1	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50			
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.6	0.30			
		I	3.0	0.23			
				0.00		-	
			3.0	0.33	postania de la constanta de la	-	
	2 汚水処理負荷抑制	白腔本田野末之。					
	<ul><li>2 汚水処理負荷抑制</li><li>3 交通負荷抑制</li></ul>	身障者用駐車スペースの確保	5.0	0.33		-	
	2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制	身障者用駐車スペースの確保	5.0 3.0	0.33 0.33	-	-	
3	2     汚水処理負荷抑制       3     交通負荷抑制       4     廃棄物処理負荷抑制       周辺環境への配慮	身障者用駐車スペースの確保	5.0 3.0 <b>3.1</b>	0.33 0.33 0.33		- -	3.1
3	2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制	身障者用駐車スペースの確保	5.0 3.0	0.33 0.33	-	- - -	3.1
3	2     汚水処理負荷抑制       3     交通負荷抑制       4     廃棄物処理負荷抑制       周辺環境への配慮	身障者用駐車スペースの確保	5.0 3.0 <b>3.1</b>	0.33 0.33 0.33		-	3.1
3	2     汚水処理負荷抑制       3     交通負荷抑制       4     廃棄物処理負荷抑制       周辺環境への配慮     3.1 騒音・振動・悪臭の防止       1     騒音	身障者用駐車スペースの確保	5.0 3.0 <b>3.1</b> <b>3.0</b>	0.33 0.33 0.33 0.40 0.50	-	- - - -	3.1
3	2     汚水処理負荷抑制       3     交通負荷抑制       4     廃棄物処理負荷抑制       周辺環境への配慮       3.1     騒音・振動・悪臭の防止       1     騒音       2     振動	身障者用駐車スペースの確保	5.0 3.0 3.1 3.0 3.0	0.33 0.33 0.33 0.40	-	- - - -	3.1
3	2     汚水処理負荷抑制       3     交通負荷抑制       4     廃棄物処理負荷抑制       B辺環境への配慮        3.1     騒音       1     騒音       2     振動       3     悪臭	身障者用駐車スペースの確保	5.0 3.0 3.1 3.0 3.0 3.0	0.33 0.33 0.40 0.50 0.50	-	- - - - -	3.1
3	2     汚水処理負荷抑制       3     交通負荷抑制       4     廃棄物処理負荷抑制       B辺環境への配慮     3.1       3.1     騒音・振動・悪臭の防止       1     騒音       2     振動       3     悪臭       3.2     風害、日照阻害の抑制	身障者用駐車スペースの確保	5.0 3.0 3.1 3.0 3.0 3.0 -	0.33 0.33 0.40 0.50 0.50 - 0.40	-	- - - - - -	3.1
3	2     汚水処理負荷抑制       3     交通負荷抑制       4     廃棄物処理負荷抑制       B辺環境への配慮       3.1 騒音・振動・悪臭の防止       1     振動       2     振動       3     悪臭       3.2 風害、日照阻害の抑制     1       1     風害の抑制	身障者用駐車スペースの確保	5.0 3.0 3.1 3.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0	0.33 0.33 0.33 0.40 0.50 0.50 - 0.40 0.70		- - - - - - -	3.1
3	2     汚水処理負荷抑制       3     交通負荷抑制       4     廃棄物処理負荷抑制       B辺環境への配慮     3.1       3.1     騒音・振動・悪臭の防止       1     振音       2     振動       3     悪臭       3.2     風害、日照阻害の抑制       1     風害の抑制       2     日照阻害の抑制	身障者用駐車スペースの確保	5.0 3.0 3.1 3.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0	0.33 0.33 0.40 0.50 0.50 - 0.40 0.70 0.30	: :	- - - - - - - -	3.1
3	2     汚水処理負荷抑制       3     交通負荷抑制       4     廃棄物処理負荷抑制       B辺環境への配慮       3.1 騒音・振動・悪臭の防止       1     振動       2     振動       3     悪臭       3.2 風害、日照阻害の抑制     1       1     風害の抑制	身障者用駐車スペースの確保	5.0 3.0 3.1 3.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0	0.33 0.33 0.33 0.40 0.50 0.50 - 0.40 0.70			3.1
3	2     汚水処理負荷抑制       3     交通負荷抑制       4     廃棄物処理負荷抑制       周辺環境への配慮       3.1     騒音・振動・悪臭の防止       1     騒音       2     振動       3     悪臭       3.2     風害、日照阻害の抑制       1     風害の抑制       2     日照阻害の抑制       3.3     光害の抑制	身障者用駐車スペースの確保 「光害対策ガイドライン」を一部満たしている	5.0 3.0 3.1 3.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0	0.33 0.33 0.40 0.50 0.50 - 0.40 0.70 0.30		-	3.1
3	2     汚水処理負荷抑制       3     交通負荷抑制       4     廃棄物処理負荷抑制       周辺環境への配慮       3.1     騒音・振動・悪臭の防止       1     騒音       2     振動       3     悪臭       3.2     風害、日照阻害の抑制       1     風害の抑制       2     日照阻害の抑制       3.3     光害の抑制		5.0 3.0 3.1 3.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.7	0.33 0.33 0.40 0.50 0.50 - 0.40 0.70 0.30 0.20			3.1

Page: 2/2 Sheet: 3/4

# 熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称) 古城病院新築移転工事

■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v3.2)\_kmt2010(v1.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-熊本《新築》2010年版

★熊本県重点評価結果					级	合評価点	77.4
重	重点事項						
	重点項目(配加	<b>徽項目</b> )	スコア	重み 係数	評価点	重点事項 重み係数	評価配点
1	温室効果ガス	排出量削減の推進					
	Q1-2.1.3	外皮性能	3.0	0.05			
	Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
	Q1-3.2.2	昼光制御	4.0	0.05			
	LR1-1	建物の熱負荷抑制	3.0	0.15	81.2	0.40	32.48
	LR1-2	自然エネルギー利用	3.5	0.20			
	LR1-3	設備システムの高効率化	3.0	0.30			
	LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10	1		
	LR3-2.3.3	交通負荷抑制	5.0	0.10			
2	安全安心で暮らしやすい社会の実現						
	Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25	67.5	0.20	13.50
	Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
	Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.15			
	Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.20			
	LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
3	県の地域資源の有効活用と保全						
	Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20		0.20	15.00
	LR2-1.1	節水	4.0	0.30	75		
	LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
	LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
4	循環型社会の実現						
	Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.1	0.30	81.9	0.20	16.38
	Q2-3	対応性·更新性	3.3	0.30			
	LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10	6.10		10.30
	LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
	LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	4.0	0.15			

### ■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点×各重点事項の重み係数)の総和 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア×各重点項目の重み係数)の総和×(5/4)×20

※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4)×20:スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

Page: 1/1 Sheet: 4/4